

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 4 年 6 月 8 日現在

機関番号：32621

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2016～2020

課題番号：16H02015

研究課題名(和文)エビデンスベース・ポリシーに向けたビッグデータによる高解像消費データの構築と活用

研究課題名(英文) Building Consumption Bigdata for High Resolution Analysis towards Evidence-based Policy

研究代表者

矢野 誠 (YANO, Makoto)

上智大学・上智大学・教授

研究者番号：30191175

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 37,800,000円

研究成果の概要(和文)：本研究の動機はIT革命がもたらした高次元・高頻度データの意義の探求にある。消費や新聞記事ビッグデータを駆使し、新型コロナや食品事故に直面した人々が、社会的情報から学び、危機回避行動をとることを示した。これは、既存研究ではデータ制約によって検証できなかった革新的な結果である。また、ビッグデータ悪用による情報操作の可能性を解明し、ビッグデータ用データベースとして頑健性が高いブロックチェーンの特性と限界を示した。新型コロナの世界的流行を受け、人々の行動変容を調査し、代表者が参画してきたゲノム情報(高頻度データ)、健康状態、および人間行動にまたがるコホートデータに加え、今後の分析の基礎を築いた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

わが国は国際的な技術革新の波に乗り遅れ、深刻な長期停滞に悩む。本研究では、IT革命が生んだ大規模データに着目し、技術革新を社会科学的視点から分析した。社会的情報からの学習というビッグデータなしでは検証しにくい問題に取り組み、新型コロナウイルス感染症の拡大など、危機に直面した人々が社会的学習を通じて危険回避行動をとることを解明した。また、情報の保全の意義、ブロックチェーン技術によるビッグデータ保全のメカニズム、技術の産業化に向けたエコシステムのデザインを示した。さらに、新型コロナに直面する人々の危険回避にむけた行動変容を示すデータ構築を行い、今後の分析の基礎を作った。

研究成果の概要(英文)：This project is to investigate the use of large-scale data, which has been made available by the IT revolution. By using consumption bigdata and newspaper bigdata, we have revealed that people who face COVID-19 pandemic or health-hazardous product defects take self-protective actions by learning from socially available information. We have characterized the recent information manipulations by the use of bigdata and characterized an ecosystem in which bigdata is utilized in a healthy manner by means of the blockchain technology. Facing the COVID-19 pandemic, moreover, we have built data on behavior change and added to the high-dimensional genome cohort data, in which the principal investigator has been involved.

研究分野：経済学

キーワード：ビッグデータ 機械学習 消費動向 パンデミック イノベーション 社会科学 文理融合

1. 研究開始当初の背景

本研究の基本的動機は、近年の情報通信技術の急速な発展によって利用可能になった新しいデータとデータ処理技術の社会科学における可能性を探るところにある。データやデータ処理技術の急速な進化に対応しつつ、新しいデータとの向き合い方を示す。

本研究の代表者による日本学術会議マスタープラン 2014 における社会科学系としての唯一の重点大型計画『危機後を支える社会インフラと真の豊かさを実現するエビデンスベース・ポリシー研究と社会科学データ網構築の連携拠点』および科学研究費特別推進研究「経済危機と社会インフラの複雑系分析」に基礎をおく。エビデンスベース人間科学というのは、数量的・統計的データに基づいて人と社会の関係を分析しようとする学問領域のことを指す。ビッグデータの構築と分析という本研究は、その中でも、最も野心的な部分を代表するものである。

矢野・中澤著『なぜ科学が豊かさにつながらないのか』（慶應出版会、2015年）も指摘するように、バブル期から続く我が国の長期停滞の原因は我が国の有する科学技術そのものにあるわけではない。研究代表者が提唱する「市場の質理論」では、市場経済では技術と豊かさは複雑系動学システムに従う。この複雑系を支える社会システムが脆弱ならば、技術を十分に活用することも、社会のニーズをイノベーションのシーズにうまく反映させることもできない。数量的、統計的データに基づいて、技術と豊かさ（シーズとニーズ）をつなぐ社会システムのデザインを解明することは、新しい成長経路の構築には不可欠である。

中でも、加速度的に高性能化する情報通信技術とセンシング技術を背景に、社会の様々な領域でデータの蓄積が急速に進んでおり、政策研究においても、以下の2つの点において、ビッグデータ時代への対応が求められている。第一は、ビッグデータを活用した高解像のデータベースを構築し、広く社会で共有することである。中でも、大規模マイクロデータの蓄積は、企業や個人などのマイクロの行動様式と物価や成長などのマクロ経済のダイナミズムとをつなぐ、重要な研究インフラを提供することになる。第二は、ビッグデータの分析に適した新たな分析手法の確立である。とりわけ、計量経済学など従来の社会科学の分析手法と、機械学習をはじめとする情報工学の分析手法とを融合させ、新たな計量分析体系を構築することが極めて重要である。

2. 研究の目的

本研究の当初の目的は、エビデンスベース・ポリシーを支える研究インフラ構築の試みの一つとして、ビッグデータの活用に着目し、第一に、ビッグデータを活用した高解像の消費動向データを構築するとともに、オープン・イノベーションの精神に則ってこれを公開し、広く内外の社会研究に供すること、第二に、データベースを活用した先進的な分析例として、マイクロの購買行動とマクロ経済のダイナミズムとの関係を実証的に明らかにすることにあつた。研究開始後、さまざまなビッグデータ関連の応用方法が普及している。それに鑑み、たとえば、ケンブリッジアナリティカによるフェースブックデータの乱用のような情報操作・情報伝達の限界、ブロックチェーン技術によるインターネット上のデジタルデータの利活用、ゲノムデータの社会科学的应用にかかわるデータ構築、といったデジタルデータにかかわる問題の解明を研究テーマに加えた。

3. 研究の方法

冒頭にのべたように、本研究は矢野・中澤著『なぜ科学が豊かさにつながらないのか』の研究に動機づけられている。その中では、ニーズをシーズにつなぐプロセスにおける文科系・理科系の知見の融合の重要性が明らかにされた。それに基づき、当初から、本研究は文理融合を念頭におき、理系の研究者（鎗目）にも協力を求め、その知見を学んだ。さらに、単に経済学者の集まりの殻を破り、文系・理系の研究者を糾合し、文系、理系の垣根を崩すための共同研究も推進した。

(1) 消費ビッグデータによる消費者の選好構造の推計と消費支出動向の分析

製品グループ・製造企業・製品の3階層構造モデルを製品バーコード・レベルの購買データ（スキャンパネルデータ）に適用し、階層ごとの代替弾力性や選好のパラメータを推計した。その際、消費プロファイルを特徴量空間とした消費者クラスタリングを行い、クラスターごとの選好構造を分析した。さらに、消費支出のマイクロパネルデータを用いて、選好構造が消費支出の動向に及ぼす影響について検証した。

(2) インフォーマルな社会的学習の消費ビッグデータによる分析

日本で2013年末に発覚した冷凍食品の農薬混入事件を取り上げ、不正確で断片的なインフォーマルな社会的学習の仕組みが、私的情報を社会全体に拡散させる上でどのような役割を果たすのかを検証した。具体的には、消費者が小売店の商品棚の状況から当該製品の売れ行きについて主観的な認識を持ち、それによって健康被害が起こる確率についての信念を更新するベイズ学習モデルを構築した。その上で、スキャンパネルデータを用いたマルコフ連鎖モンテカルロ・シミュレーションによって当該モデルの推計を行い、インフォーマルな仕組みがもたらす情報への感応度(社会的学習の強度)や、過去の公開情報から蓄積した印象を忘却する度合いなどの個人パラメータを分析した。

(3) 二系列のビッグデータのCOVID-19下での消費者の行動変容の分析

人々の感染予防行動に向けた行動変容を、流行の初期の段階での日々のマスクの購入行動でとらえ、毎日の新型コロナ感染情報が促進したことを示した。具体的には、マスク購入についてのスキャンパネルデータと居住地ごとの毎日の新聞記事データを用い、新型コロナ流行前のマスクの利用経験や消費者のデモグラフィックなどをコントロールして、新規の情報量や累積的な情報量が、感染拡大初期の各期間のマスク購入にどのような影響を与えたかを検証した。二系列の異なるビッグデータを活用し、社会科学現象をとらえるという研究手法は、我々の知る限りでは、他に類例を見ず、新しい研究手法を開発するという意味でも大きな意義がある。

(4) ビッグデータが可能にした情報操作の影響の分析

ケンブリッジアナリティカがフェースブックデータを利用し、情報操作を行い、ブレキシットやアメリカ大統領選の選挙に干渉したことは、欧米の報道などを通じてよく知られている。また、今回のウクライナ戦争では、ロシアによるインターネット上での情報操作の危険が報じられている。こうした情報操作の危険、誤った情報の提供に関して、複数のゲーム論的モデルを構築し、さまざまな角度から情報操作や情報伝達機能の不備に関して研究を行った。

(5) ブロックチェーン技術によるデータの利活用の可能性の分析

ブロックチェーン技術に支えられた仮想通貨は、本研究の企画段階のころから一般に知られ始め、研究期間の中頃までに急速に一般化した。この技術は、インターネット上のビッグデータを格納するデータベース技術で、既存のデータベース管理コストが非常に高額であるのに対し、分権的管理を通じて大幅な管理コストの削減を可能にする。そのため、通貨やIoTデータ、デジタル資産など多方面での応用が期待される。しかし、仮想通貨などにおいて、管理の利便性の向上が大きい分、期待が膨らみ、投機、取引操作、資金洗浄など大きな問題もある。技術の利便性・安定性、新しい応用などについて、技術的側面を含め確認するとともに、仮想通貨や他の応用の安定的な導入に向けた社会制度のあり方を、ブロックチェーン技術の学者、技術者、法律の実務家、政策担当者を含め、検討した。

(6) 新型コロナウイルス感染症に関するソシオ・ライフサイエンスデータの構築

ビッグデータなどの大標本データだけでなく、一つ一つのデータが非常に多くの要素からなる多次元データも、情報通信技術の革新とともに生まれた新しいタイプのデータである。そうしたタイプのデータの一つとして、ゲノムデータがある。研究代表者は、京都大学医学研究科ゲノム医学センターと協力して、ゲノム疫学データと社会科学データを連動させたコホート・パネルデータの構築を続けてきた。2019年末に発生した新型コロナウイルス感染症の世界的拡大に鑑み、このデータセットに、人々の感染症対策としての行動変容を組み込んだ新たなソシオライフサイエンスデータの構築に着手し、行動変容の誘因を医学と社会科学の両面から解明する基礎を作った。

(7) その他

上記の研究の外縁をうめるさまざまな研究を行った

4. 研究成果

文理融合を念頭においた研究活動として、代表者を筆頭著者として、*Blockchain and Crypto Currency: Building A High-Quality Marketplace for Crypt Data* (2020, 以下 *Blockchain*) および *Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak: Public Health and Public Policy* (2021, 以下 *Socio-Life Science*) の二冊の論文集を国際的学術出版をリードする Springer 社より上梓した。

Blockchain (2020) では、海外のブロックチェーン技術者、設計者(Dai, Pu)、情報学研究者(Omote)、弁護士(Masuda)、政策担当者(Kishimoto)の協力を求め、ブロックチェーン技術が抱える問題やこれからの解決策、仮想通貨の規制のベースとしての通貨制度や証券制度のあり方、ガバナンスの問題などさまざまな視点から明らかにした。

Socio-Life Science (2021) では、京都大学医学研究科、パスツール研究所に協力をもとめ、世界の最先端のゲノム医学研究者 (Matsuda, Sakuntabhai, Peacock) や医学者、社会科学者を結集し、新型コロナウイルス下での、行動変容のあり方、情報の電波のプロセスなどを明らかにした。

より具体的な成果の中には、すでに、最先端の学術誌や学術論文集に掲載され、評価の定まったものも多い。同時に、新しい研究手法の開発を必要とした研究成果の中には、ディスカッション・ペーパーや覚書きのレベルにとどまるものも少なくない。まず、評価の定まった研究成果から報告する。

ビッグデータが可能にした情報操作の影響の分析(4)

ブレキシット投票やアメリカ大統領選では、フェースブックデータ上の「いいね」の分布を悪用した選挙干渉が結果に大きく影響した可能性があることが様々な報道で言われている。また Q アノンのようなインターネットサイトが流す根拠のない情報(データ)も人々の行動に大きな影響を持つことも分かった。こうした事実を受け、本研究では、以前から進めていた情報の伝達障害に関する分析を再開した。この研究を通じ、不確実性下での人々の状態依存型行動プログラムに直接影響する通常の情報に加え、行動プログラムには直接影響しない特異(イデオシンクラティック)情報の存在が正確な情報伝達を妨げる可能性があることを示した。この研究は、政治学のトップジャーナルの一つである *American Political Science Review* (Honryo and Yano, 2021) に掲載された。

また、アメリカのコロナウイルス感染症拡大の要因として、政治的リーダーの発するメッセージと人々の危険回避行動の重要性をデータにより検証した (Yano, *Socio-Life Science*, 2021) さらに、不完備情報が価格競争に果たす役割を解明 (Dastidar and Yano, 2021, *International Journal of Economic Theory*) するとともに、賄賂・汚職における不完全情報の役割の分析も行っている (Dastidar and Yano, RIETI DP, 2020) 。

インフォーマルな社会的学習の消費ビッグデータによる分析(2)

インフォーマルな社会的学習の効果を解明するために、階層的ベイジアンモデルを利用し、この消費者の行動の連動性を分析した。この研究で利用した階層的ベイジアンモデルやマルコフチェーンモンテカルロ法の導入でも文理融合研究活動の果たした役割は大きい。

研究成果として、第一に、期間中に問題企業の製品の購入を再開した消費者(「再開者」)は、そうでない消費者(「非再開者」)と比べ、インフォーマルな仕組みがもたらす情報への感応度(社会的学習の強度)と、過去の公開情報から蓄積した印象を忘却する度合いが平均的に高いことがわかった。第二に、それらの度合いについて、再開者の間の多様性は非再開者より大きいことがわかった。このことから、売上回復の過程においては、インフォーマルな仕組みによる社会的学習が一定の役割を果たしており、また、こうした社会的学習においては、学習者が多様であることが貢献していると考えられる。研究成果は、経済産業研究所の研究会にて数回にわたり詳細な報告を行ったほか、Sato, Ota, Ito, and Yano (2020, RIETI DP) にて公表した。

二系列のビッグデータの併用による COVID-19 下での消費者の行動変容の分析(3)

分析により、感染過程のどの期間においても、累積記事数がマスク購入に有意に関係していることが明らかになった。これは、感染情報とマスク購入活動という2つの要因を日次のビッグデータから抽出したことによるものであり、パンデミック時の行動変容と人々が受容する情報量の関係という従来型のデータでは分析が困難だったテーマに複数のビッグデータを併用して光を当てた点で重要である。研究成果は、経済産業研究所の研究会にて数回にわたり詳細な報告を行ったほか、2022年度には同研究所ディスカッション・ペーパー等の媒体で公表予定である (Ota, Ito, Sato, and Yano, 2022, mimeo)。

消費のビッグデータによる消費者の選好構造の推計と消費支出動向の分析(1)

上記②, ③の研究の準備段階を形成するために、消費ビッグデータを用い、消費財のクラスターごとの選考パラメータを推計した。推計結果は、広く内外の社会研究に供するためにウェブサイトで公開した。また、消費支出のマイクロパネルデータを用いた分析の結果、こうした横断的な選好構造を組み入れることで、消費支出動向モデルの説明力が向上することを明らかにした (Sato and Yano, 2018)。

ブロックチェーン技術によるデータの利活用の可能性の分析(5)

ブロックチェーン技術は、インターネット上のビッグデータのデータベースで、外からの攻撃によって改ざんされる可能性が非常に低くおさえ、個々のデータを特定の個人の所有に帰することを可能にする。そのため、銀行の預金通貨とよく似た性質をもつ通貨としての利用が可能である。そこで仮想通貨の意義を、通貨と財と金融資産からなる新しい市場均衡モデルを開発し、

分析した。具体的な研究成果として、ブロックチェーン技術による費用削減効果が十分に大きければ、仮想通貨の存在意義があることがモデルによって示された (Yano, *Blockchain*, 2020)。現在、インターネットデータの独占が大規模情報企業によって進行している。この対策として、ブロックチェーン技術によるデータの所有権の設定の意義をコースの定理の視点から解明した (Pu and Yano, *Blockchain*, 2020)。ブロックチェーン産業を支えるエコシステムのデザインを解明し (Yano, Dai, Masuda, and Kishimoto, *Blockchain*, 2020A)、仮想通貨の健全な利用をすすめる社会制度の在り方を検討した (Yano, Dai, Masuda, and Kishimoto, *Blockchain*, 2020B)。さらに、現在構築中のソシオ・ライフサイエンスデータなど、研究用のコホート・パネルデータの研究者間の共同利用に向け、イーサリアムブロックチェーン技術の活用の可能性を示した (Dai, Chigusa, and Yano, *Socio-Life Science*, 2021)。さらに、技術の普及にむけ、基本的性質の解説も行った (Omote and Yano, *Blockchain*, 2020)。

新型コロナウイルス感染症に関するソシオ・ライフサイエンスデータの構築(6)

2019 年末に発生した新型コロナウイルス感染症の世界的拡大に鑑み、これまで継続してきたソシオ・ライフサイエンスデータに、人々の感染症対策としての行動変容を組み込み、誘因を医学と社会科学の両面から解明する基礎を作り、継続している。データ自体は現在整理中で、今後、分析を進める計画である。パンデミック時の行動変容を把握するデータ・デザインについては、Yano, Hirota, Yodo, and Matsuda (*Socio-Life Science*, 2021) および (Hirota, Setoh, Yodo, and Yano (*Socio-Life Science*, 2021) に詳細がまとめられている。

その他 (7)

人々の利他性に訴えることで、情報操作や情報の悪用を制御できる可能性がある。そうした視点から、ビッグデータの利活用を検討する前段階の研究として、人間の持つ利他性の性質を研究した (Fujiu and Yano, 2019, *International Journal of Economic Theory*, and Aoki, Nishimura and Yano, 2019, *International Journal of Economic Theory*, 2019)。観戦情報下の市場競争は、本研究で取り扱った不完全情報化での市場競争の研究の基本となる。その視点から、完全情報下の価格競争の発生の根拠を解明した (Yano and Komatsubara, 2018, *International Journal of Economic Theory*)。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計67件（うち査読付論文 38件 / うち国際共著 28件 / うちオープンアクセス 36件）

1. 著者名 Masahiro Sato, Rui Ota, Arata Ito, Makoto Yano	4. 巻 20-E-092
2. 論文標題 Three Minds Equal Manjushari 's Wisdom: An Anatomy of Informal Social Learning with Heterogenous Agents by the Hierarchical Bayesian Approach	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 RIETI Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 1-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Rui Ota, Arata Ito, Masahiro Sato, and Makoto Yano	4. 巻 -
2. 論文標題 The Effects of Information Reception on Consumers' Purchasing Behavior: A Case of Facial Masks in the Outset of the Covid-19 in Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Mimeo	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Vida Peter, Honryo Takakazu	4. 巻 127
2. 論文標題 Strategic stability of equilibria in multi-sender signaling games	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Games and Economic Behavior	6. 最初と最後の頁 102-112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.geb.2021.02.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 関根仁博	4. 巻 2101
2. 論文標題 新型コロナウイルス感染症の感染予防行動における規定要因としての ソーシャル・キャピタル	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ながはまスタディ KIER Discussion Paper series	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Li, Veronica Qin Ting, and Masaru Yarime	4. 巻 e29
2. 論文標題 Increasing Resilience via the Use of Personal Data: Lessons from COVID-19 Dashboards on Data Governance for the Public Good	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Data & Policy	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/dap.2021.27	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 関根仁博	4. 巻 2002
2. 論文標題 ソーシャル・キャピタルが主観的幸福感に及ぼす影響と人間関係	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Discussion Paper series	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Spandagos, Constantine, Erik Baark, Tze Ling Ng, and Masaru Yarime	4. 巻 143
2. 論文標題 Social Influence and Economic Intervention Policies to Save Energy at Home: Critical Questions for the New Decade and Evidence from Air-condition Use	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Renewable and Sustainable Energy Review	6. 最初と最後の頁 110915
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rser.2021.110915	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Trencher, Gregory Patrick, Araz Taeihagh, and Masaru Yarime	4. 巻 142
2. 論文標題 Overcoming Barriers to Developing and Diffusing Fuel-Cell Vehicles: Governance Strategies and Experiences in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Energy Policy	6. 最初と最後の頁 111533
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.enpol.2020.111533	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ahl A., Yarime M., Goto M., Chopra Shauhrat S., Kumar Nallapaneni Manoj., Tanaka K., Sagawa D.	4. 巻 117
2. 論文標題 Exploring blockchain for the energy transition: Opportunities and challenges based on a case study in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Renewable and Sustainable Energy Reviews	6. 最初と最後の頁 109488
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rser.2019.109488	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Dastidar Krishnendu Ghosh, Yano Makoto	4. 巻 17
2. 論文標題 Corruption, market quality, and entry deterrence in emerging economies	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Economic Theory	6. 最初と最後の頁 101 ~ 117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ijet.12265	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 HONRYO TAKAKAZU, YANO MAKOTO	4. 巻 115
2. 論文標題 Idiosyncratic Information and Vague Communication	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 American Political Science Review	6. 最初と最後の頁 165 ~ 178
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S0003055420000660	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yano Makoto	4. 巻 -
2. 論文標題 COVID-19 Pandemic and Behavioural Change: The Cases of Florida and Ohio	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak	6. 最初と最後の頁 25 ~ 46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-16-5727-6_2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Makoto Yano and Yuichi Furukawa	4. 巻 20
2. 論文標題 Economic Black Holes and Labor Singularities in the Presence of Self-replicating Artificial Intelligence	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 RIETI Discussion Paper Series	6. 最初と最後の頁 E009
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Makoto Yano	4. 巻 20
2. 論文標題 Covid-19 Pandemic and Politics: The Cases of Florida and Ohio	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 RIETI Discussion Paper Series	6. 最初と最後の頁 E040
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shigeru Hirota, Masato Yodo, Makoto Yano	4. 巻 20
2. 論文標題 The Fukushima Nuclear Accident and the Set of Values of the Japanese People	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 RIETI Discussion Paper Series	6. 最初と最後の頁 J029
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Rui Ota and Hiroshi Fujiu	4. 巻 71(2)
2. 論文標題 Pricing an Existing Product while Producing a New Substitute	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 横浜市立大学論叢社会科学系列	6. 最初と最後の頁 69-79
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15015/00001780	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 太田 壘、李 琦	4. 巻 71(1)
2. 論文標題 原発事故が消費選好に与えた影響の分析 被災県産モモを事例に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 横浜市立大学論叢社会科学系列	6. 最初と最後の頁 33-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15015/00001755	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hiroshi Fujiu and Makoto Yano	4. 巻 23-4
2. 論文標題 Two-Sided Altruism as a Motive for intergenerational Transfer	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Studies in Nonlinear Dynamics and Econometrics	6. 最初と最後の頁 1-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/snde-2019-0019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Makoto Yano and Kenji Sato	4. 巻 15-3
2. 論文標題 Ergodic Chaos for Non-expansive Economic Models	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Economic Theory	6. 最初と最後の頁 311-320
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ijet.12232	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Makoto Yano	4. 巻 19-E-097
2. 論文標題 Market Quality Theory and the Coase Theorem in the Presence of Transaction Costs	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 RIETI Discussion Paper Series	6. 最初と最後の頁 1-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Makoto Yano and Yuichi Furukawa	4. 巻 20-E-009
2. 論文標題 Economic Black Holes and Labor Singularities in the Presence of Self-replicating Artificial Intelligence	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 RIETI Discussion Paper Series	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Makoto Yano, Chris Dai, Kenichi Masuda and Yoshio Kishimoto	4. 巻 19-P-029
2. 論文標題 Creation of a Blockchain and a New Ecosystem	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 RIETI Policy Discussion Paper Series	6. 最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Makoto Yano	4. 巻 19-E-062
2. 論文標題 A New Theory of Money: From Ancient Japanese Copper Coins to Virtual Currencies	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 RIETI Discussion Paper Series	6. 最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ahl, Amanda, Masaru Yarime, Mika Goto, Shauhrat Chopra, Manoj Kumar Nallapaneni, Kenji Tanaka, and Daishi Sagawa	4. 巻 117
2. 論文標題 Exploring Blockchain for the Energy Transition: Opportunities and Challenges Based on a Case Study in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Renewable and Sustainable Energy Reviews	6. 最初と最後の頁 109488-109499
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rser.2019.109488	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ahl, Amanda, Masaru Yarime, Kenji Tanaka, and Daishi Sagawa	4. 巻 107
2. 論文標題 Review of Blockchain-Based Distributed Energy: Implications for Institutional Development	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Renewable and Sustainable Energy Reviews	6. 最初と最後の頁 200-211
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rser.2019.03.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fujiu Hiroshi, Yano Makoto	4. 巻 0
2. 論文標題 Two-sided altruism as a motive for intergenerational transfer	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Studies in Nonlinear Dynamics & Econometrics	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/snde-2019-0019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Benhabib Jess, Nishimura Kazuo, Yano Makoto	4. 巻 15
2. 論文標題 Introduction	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Economic Theory	6. 最初と最後の頁 3~8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ijet.12211	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Aoki Takaaki, Nishimura Kazuo, Yano Makoto	4. 巻 0
2. 論文標題 Two-sided altruism and time inconsistency	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Studies in Nonlinear Dynamics & Econometrics	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/snde-2019-0022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ippei Fujiwara and Makoto Yano	4. 巻 -
2. 論文標題 Business Cycles and Indeterminacy in Economic Models: A Special Issue in Honor of Professor Kazuo Nishimura	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Studies in Nonlinear Dynamics and Economics	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iwasa Kazumichi, Nishimura Kazuo, Yano Makoto	4. 巻 15
2. 論文標題 Trade and indeterminacy revisited	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Economic Theory	6. 最初と最後の頁 37 ~ 51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ijet.12205	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Makoto Yano, Yuichi Furukawa	4. 巻 19-E-008
2. 論文標題 Two-dimensional Constrained Chaos and Time in Innovation: An analysis of industrial revolution cycles	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 RIETI Discussion Paper Series	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Wang, Qizhi, Ota, Rui	4. 巻 Online Version
2. 論文標題 The 2015 Chinese Food Safety Law and market quality	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Pacific Economic Review	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1468-0106.12291	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Pathirana Shakila, Masaru Yarime	4. 巻 178
2. 論文標題 Introducing energy efficient technologies in small- and medium-sized enterprises in the apparel industry: A case study of Sri Lanka	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Cleaner Production	6. 最初と最後の頁 247 ~ 257
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jclepro.2017.12.274	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yarime, Masaru	4. 巻 38(1)
2. 論文標題 Learning and Open Data in Sustainability Transitions: Evolutionary Implications of the Theory of Probabilistic Functionalism	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Environment Systems and Decisions	6. 最初と最後の頁 88 ~ 91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10669-017-9668-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yarime, Masaru, and Aitong Li	4. 巻 9(S3)
2. 論文標題 Facilitating International Cooperation on Air Pollution in East Asia: Fragmentation of the Epistemic Communities	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Global Policy	6. 最初と最後の頁 35 ~ 41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1758-5899.12623	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ahl, Amanda, Masaru Yarime, Kenji Tanaka, Daishi Segawa	4. 巻 107
2. 論文標題 Review of Blockchain-Based Distributed Energy: Implications for Institutional Development	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Renewable and Sustainable Energy Reviews	6. 最初と最後の頁 200 ~ 211
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rser.2019.03.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ahl, Amanda, Masaru Yarime, Kenji Tanaka, Daishi Segawa	4. 巻 107
2. 論文標題 Review of Blockchain-Based Distributed Energy: Implications for Institutional Development	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Renewable and Sustainable Energy Reviews	6. 最初と最後の頁 200 ~ 211
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rser.2019.03.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Tantiwechwuttikul Ranaporn, Yarime Masaru, Ito Kohzo	4. 巻 11
2. 論文標題 Solar Photovoltaic Market Adoption: Dilemma of Technological Exploitation vs Technological Exploration	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Technologies and Eco-innovation towards Sustainability	6. 最初と最後の頁 215 ~ 227
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-13-1196-3_18	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yano Makoto, Komatsubara Takashi	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 Price competition or price leadership	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Economic Theory	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00199-017-1080-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masato Yodo, Makoto Yano	4. 巻 17-E-119
2. 論文標題 Household income and the OECD 's four types of social capital	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 RIETI Discussion Paper Series	6. 最初と最後の頁 1 ~ 29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Makoto Yano	4. 巻 Vol.68
2. 論文標題 Overcoming Silos and Kakines	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 RIETI Highlight, 2018 Special Edition	6. 最初と最後の頁 18～20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 矢野誠	4. 巻 Vol.53, No.2
2. 論文標題 市場の質の法と経済学	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 ファイナンス	6. 最初と最後の頁 60～67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 矢野誠	4. 巻 増刊号
2. 論文標題 実践的経済学研究のすすめ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 経済セミナー増刊『経済学者が贈る未来への羅針盤』	6. 最初と最後の頁 20～24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masahiro Sato, Makoto Yano	4. 巻 2018-001
2. 論文標題 The Contribution of Unobserved Contemporaneous Preference Structures on Consumer Spending Using Micro-Panel Data	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 MQ Discussion Series	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 矢野誠	4. 巻 第60巻, 第4号
2. 論文標題 市場の質の法と経済学	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 高崎経済大学論集	6. 最初と最後の頁 349 ~ 351
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Pathirana Shakila, Yarime Masaru	4. 巻 178
2. 論文標題 Introducing energy efficient technologies in small- and medium-sized enterprises in the apparel industry: A case study of Sri Lanka	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Cleaner Production	6. 最初と最後の頁 247 ~ 257
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jclepro.2017.12.274	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ahl Amanda, Eklund Johanna, Lundqvist Per, Yarime Masaru	4. 巻 175
2. 論文標題 Balancing formal and informal success factors perceived by supply chain stakeholders: A study of woody biomass energy systems in Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Cleaner Production	6. 最初と最後の頁 50 ~ 59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jclepro.2017.11.108	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yarime Masaru	4. 巻 12
2. 論文標題 Facilitating data-intensive approaches to innovation for sustainability: opportunities and challenges in building smart cities	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sustainability Science	6. 最初と最後の頁 881 ~ 885
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11625-017-0498-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Li Aitong, Yarime Masaru	4. 巻 22
2. 論文標題 Polarization and clustering in scientific debates and problem framing: network analysis of the science-policy interface for grassland management in China	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Ecology and Society	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5751/ES-09321-220308	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yarime, Masaru, and Martin Karlsson	4. 巻 -
2. 論文標題 Examining Technological Innovation Systems of Smart Cities	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Jorge Niosi, ed. Innovation Policy, Systems and Management, Cambridge, United Kingdom: Cambridge University Press	6. 最初と最後の頁 394 ~ 417
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kharrazi, Ali, and Masaru Yarime	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 Resilience of Complex Natural-Social Systems: Applications of Redundancy and Modularity for Sustainability Challenges	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 B. A. Furtado, M. A. Fuentes, and C. J. Tessone, eds., Applied Complexity to Public Policies, Brasilia: IPEA	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takakazu Honryo and Makoto Yano	4. 巻 2015-004
2. 論文標題 Obscurantism in the Fukushima Nuclear Accident and a Neologism-Proof Equilibrium	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Market Quality Discussion Series	6. 最初と最後の頁 1-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Makoto Yano	4. 巻 63
2. 論文標題 Low and Economics on Market Quality	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 RIETI Highlight	6. 最初と最後の頁 2-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Krishnendu Ghosh Dastidar and Makoto Yano	4. 巻 17-E-010
2. 論文標題 Corruption, Market Quality and Entry Deterrence in Emerging Economies	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 RIETI Discussion Paper Series	6. 最初と最後の頁 1-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 矢野誠	4. 巻 60
2. 論文標題 法と経済	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 RIETI Highlight	6. 最初と最後の頁 11 - 11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 矢野誠	4. 巻 61
2. 論文標題 市場の質の法と経済学	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 RIETI Highlight	6. 最初と最後の頁 26-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Masahiro Sato, Ali Kharrazi, Hirofumi Nakayama, Steven Kraines, Masaru Yarime	4. 巻 105
2. 論文標題 Quantifying the supplier-portfolio diversity of embodied energy: Strategic implications for strengthening energy resilience	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Energy Policy	6. 最初と最後の頁 41-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.enpol.2017.02.024	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Gregory Trencher, Vanesa Castan Broto, Tomoko Takagi, Zoe Springings, Yuko Nishida, Masaru Yarime	4. 巻 66
2. 論文標題 Innovative policy practices to advance building energy efficiency and retrofitting: Approaches, impacts and challenges in ten C40 cities	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Environmental Science & Policy	6. 最初と最後の頁 353-365
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.envsci.2016.06.021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Gregory Trencher, Masafumi Nagao, Chen Chiahsin, Kentaro Ichiki, Tobai Sadayoshi, Mariko Kinai, Mio Kamitani, Shojiro Nakamura, and Aiko Yamauchi, Masaru Yarime	4. 巻 9(4)
2. 論文標題 Implementing Sustainability Co-creation between Universities and Society: A Typology of Potential Models, Challenges and Strategies	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sustainability	6. 最初と最後の頁 594-594
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/su9040594	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Roy A. Nyberg, Masaru Yarime	4. 巻 50
2. 論文標題 Assembling a Field into Place: Smart-City Development in Japan	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Emergence, Research in the Sociology of Organizations, Volume 50, Emerald	6. 最初と最後の頁 253-279
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1108/S0733-558X20170000050008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yarime, Masaru	4. 巻 -
2. 論文標題 Implementing Technology Assessment through Stakeholder Platforms: Strategic Resource Logistics for Socially Robust Models of Sustainability Innovation	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Antonio Moniz and Kumi Okuwada, eds., Technology Assessment in Japan and Europe, Karlsruhe: Karlsruhe Institute of Technology (KIT) Scientific Publishing	6. 最初と最後の頁 129-145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Trencher, Gregory, Daniel Rosenberg Daneri, Kes McCormick, Toru Terada, John Petersen, Masaru Yarime, and Bernadett Kiss	4. 巻 -
2. 論文標題 The Role of Students in the Co-creation of Transformational Knowledge and Sustainability Experiments: Experiences from Sweden, Japan and the USA	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Walter Leal Filho and Luciana Brandli, eds., Engaging Stakeholders in Education for Sustainable Development at University Level, Berlin: Springer	6. 最初と最後の頁 191-215
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yarime, Masaru	4. 巻 -
2. 論文標題 Integrated Solutions to Complex Problems: Transforming Japanese Science and Technology	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Frank Baldwin and Anne Allison, eds., Japan: The Precarious Future, New York: New York University Press and United States Social Science Research Council (SSRC)	6. 最初と最後の頁 213-235
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yarime, Masaru, and Martin Karlsson	4. 巻 -
2. 論文標題 Understanding the Innovation System of Smart Cities: The Case of Japan and Implications for Public Policy and Institutional Design	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Jorge Niosi, ed., Innovation Policy, Systems and Management, Cambridge, United Kingdom: Cambridge University Press	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yarime, Masaru, and Nobuyuki Sakai	4. 巻 -
2. 論文標題 Demonstrating Innovation on Smart Cities: Japan's Experience and Implications for the Belt and Road Initiative	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Stephen W. K. Chiu, ed., Economic and Financial Cooperation: Hong Kong and the World under the Belt and Road Initiative, Berlin: Springer	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Masahiro Sato, Taisuke Kameda, Shigeru Sugihara, Colin Hottman	4. 巻 194
2. 論文標題 The Contribution of Quality and Product Variety to Retail Growth in Japan	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 経済分析	6. 最初と最後の頁 65-92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kyoji Fukao, Taisuke Kameda, Kota Nakamura, Ryoichi Namba, Masahiro Sato, Shigeru Sugihara	4. 巻 194
2. 論文標題 Measurement of Deflators and Real Value Added in the Service Sector	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 経済分析	6. 最初と最後の頁 9-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計77件 (うち招待講演 21件 / うち国際学会 38件)

1. 発表者名 張 澤宇, 佐藤 正弘
2. 発表標題 ダイヤモンド・リスpons型の水資源管理システムの構築
3. 学会等名 環境経済・政策学会2020年大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 張 澤宇, 佐藤 正弘
2. 発表標題 表流水と地下水の連結利用による安定化機能に対するオープンアクセスの影響について
3. 学会等名 環境経済・政策学会2021年大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 太田 隼
2. 発表標題 製造物瑕疵によって引き起こされる新製品投入に関する意思決定と市場支配力の変化
3. 学会等名 経済産業研究所 第2回研究会「市場高質化による自己増殖型変化への対応の文理融合研究」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 太田 隼
2. 発表標題 Purchasing Experience and Panic Buying: An Empirical Study of Facial Masks in the Outset of COVID-19 Pandemic in Japan
3. 学会等名 経済産業研究所 第6回研究会「市場高質化による自己増殖型変化への対応の文理融合研究」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 太田 隼
2. 発表標題 The Effects of Information Reception on Consumers' Purchasing Behavior: A Case of Facial Masks in the Outset of the Covid-19 in Japan
3. 学会等名 経済産業研究所 第13回研究会「市場高質化による自己増殖型変化への対応の文理融合研究」(報告決定済み)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Rui Ota
2. 発表標題 The Effects of Information Reception on Consumers' Purchasing Behavior: A Case of Facial Masks in the Outset of the Covid-19 in Japan
3. 学会等名 Western Economic Association International 97th Annual Meeting (報告決定済み)(国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 関根仁博
2. 発表標題 幸福感の規定要因としてのソーシャル・キャピタル
3. 学会等名 日本社会関係学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐藤 正弘 , 太田 壘, 伊藤 新, 矢野 誠
2. 発表標題 階層ベイズ・アプローチを用いた非均質的エージェントによるインフォーマルな社会的学習の分析
3. 学会等名 経済産業研究所「市場高質化による自己増殖型外生変化への対応の文理融合研究」プロジェクト研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 太田 壘, 伊藤 新, 佐藤 正弘, 矢野 誠
2. 発表標題 消費行動における情報受容の役割と変化: COVID-19感染初期におけるマスク購入の例
3. 学会等名 経済産業研究所「市場高質化による自己増殖型外生変化への対応の文理融合研究」プロジェクト研究会
4. 発表年 2021年

1 . 発表者名 Li, Veronica Qin Ting, and Masaru Yarime
2 . 発表標題 Data Governance for the Public Acceptability of Personalised COVID-19 Advice: An Experimental Study in Hong Kong
3 . 学会等名 Data for Policy 2021 Conference, organized by University College London, United Kingdom (国際学会)
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 Li, Veronica, and Masaru Yarime
2 . 発表標題 Increasing Resilience toward COVID-19 via Risk Mapping: Challenges and Opportunities for Stakeholder Empowerment in Hong Kong
3 . 学会等名 Data for Policy 2020 Conference (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Wu, Jing, Masaru Yarime, Kun Qian, and Bjorn W. Schuller
2 . 発表標題 Government ' s Data Governance under Crisis: Chinese Government ' s Approach to Big Data Governance in Combating COVID-19
3 . 学会等名 Online Workshop on Combating COVID-19 in Asia (国際学会)
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 張 澤宇, 佐藤 正弘
2 . 発表標題 再生水取引制度の構築に向けて 中国の水資源改革への政策提言
3 . 学会等名 環境経済・政策学会
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名 Rui Ota and Lili Zhang
2. 発表標題 Declining Demand and Product Quality: An Empirical Study on Japanese PC Monitor Market
3. 学会等名 International Academic Consortium for Sustainable Cities 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masaru Yarime
2. 発表標題 The Role of Blockchain for Human Security
3. 学会等名 JAHSS-JASID Joint International Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ahl, Amanda, Masaru Yarime, Kenji Tanaka, and Daishi Sagawa
2. 発表標題 Review of Blockchain-Based Distributed Energy: Implications for Institutional Development
3. 学会等名 Global Summit on Blockchain Technology in the Energy Sector (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤 正弘, 太田 壘, 伊藤 新, 矢野 誠
2. 発表標題 製品安全危機後における消費者行動と製品普及過程
3. 学会等名 独立行政法人経済産業研究所「市場の質の法と経済学に関するエビデンスベースポリシー研究」プロジェクト研究会報告
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤 正弘
2. 発表標題 Individual and Social Learning in Product Diffusion
3. 学会等名 第3回東北大学・南開大学学術交流国際日本学フォーラム研究報告（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤 正弘, 太田 壘, 伊藤 新, 矢野 誠
2. 発表標題 Social Learning after a Product-Harm Crisis
3. 学会等名 独立行政法人経済産業研究所「市場の質の法と経済学に関するエビデンスベースポリシー研究」プロジェクト研究会報告
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 関根 仁博
2. 発表標題 ソーシャル・キャピタルと健康-生命科学と社会科学の統合データセットの構築・活用-
3. 学会等名 第93回CAPS研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 関根 仁博
2. 発表標題 ながはまプロジェクトにおける健康・医療情報と社会経済情報を活用した文理融合研究
3. 学会等名 第92回CAPS研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 矢野 誠
2. 発表標題 Two-dimensional Constrained Chaos and Market Quality Dynamics
3. 学会等名 六甲台セオリーセミナー第101回
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 矢野 誠
2. 発表標題 良質な市場形成に向けた基礎理論と政策の架け橋づくり
3. 学会等名 消費者庁「消費者政策推進のための専門人材の育成・確保に関する懇談会」第3回
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 矢野誠, 古川雄一
2. 発表標題 Chaotic Industrial Revolution Cycles and Intellectual Property Protection in an Endogenous-Exogenous Growth Model
3. 学会等名 日本国際経済学会中部支部冬季大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 矢野 誠
2. 発表標題 ブロックチェーン（分散管理台帳）サイバー空間と物的空間をつなぐインターフェース
3. 学会等名 科学技術振興機構研究開発戦略センター「ブロックチェーン・セミナー」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 矢野 誠
2. 発表標題 ブロックチェーンとIoT
3. 学会等名 RIETI特別セミナー「ブロックチェーンとSociety5.0 - 分散型合意に基づく新しい産業の創出」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Makoto Yano
2. 発表標題 Blockchain and the IoT - Connecting cyberspace and physical space
3. 学会等名 RIETI-TIER-KIET Workshop
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Makoto Yano
2. 発表標題 Keynote Presentation “ A New Theory of Money Copper Coins, Gold Standard, Fiat Money and Cryptocurrency
3. 学会等名 International Conference on “ Market Quality and Economic Growth (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 矢野誠
2. 発表標題 Law and economic approach on markets and other decentralized systems
3. 学会等名 外交アカデミー
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐藤 正弘
2. 発表標題 消費者選好ネットワークのスケールフリー性とグリーンコンシューマー
3. 学会等名 環境経済・政策学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 本領 崇一
2. 発表標題 On multi-sender signaling
3. 学会等名 ゲーム理論ワークショップ2019 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Rui Ota
2. 発表標題 Estimation of Changes in Consumer ' s Preference After The Fukushima Nuclear Disaster
3. 学会等名 International Academic Consortium for Sustainable Cities 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 太田 壘
2. 発表標題 Endogenous Price Leadership and Setup Cost Reduction
3. 学会等名 日本経済学会2018年春季大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Chopra, Shauhrat S., and Masaru Yarime
2. 発表標題 Towards Realizing the Potential of Blockchain Technology for Industrial Ecology
3. 学会等名 Gordon Research Conference on the Role of Industrial Ecology in Reaching the Sustainable Development Goals (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Liu, Books, Mushan Jin, and Masaru Yarime
2. 発表標題 The Innovation System of Smart Cities in Japan: Implications for the Development of New Smart Cities in China
3. 学会等名 First Global Chinese Urban Governance Workshop (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yarime, Masaru
2. 発表標題 A Comparative Analysis of the Innovation Systems of Smart Cities in Japan, United States, and China
3. 学会等名 The 17th International Schumpeter Society (ISS) Conference "Innovation, Catch-up, and Sustainable Development (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takuro Kobashi, Masaru Yarime
2. 発表標題 Techno-Economic Assessment of the Residential Photovoltaic Systems Integrated with Electric Vehicles: A Case Study of Japanese Households towards 2030
3. 学会等名 The 10th International Conference on Applied Energy (ICAE2018) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1 . 発表者名 Nyberg, Roy, and Masaru Yarime
2 . 発表標題 What is Digital Transformation? Assessing the Impact of 'Smart City' Development in Japan
3 . 学会等名 Second Digital Transformation and Strategy Forum (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Ahl, Amanda, Masaru Yarime, Kenji Tanaka, and Daishi Segawa
2 . 発表標題 Establishing Blockchain-Based Distributed Energy Platforms: Implications for Public Policy and Institutional Design
3 . 学会等名 Behavior, Energy & Climate Change Conference 2018 (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Yarime, Masaru
2 . 発表標題 Governing Data-Driven Innovation: The Development of Smart Cities and Policy Implications for Sustainability
3 . 学会等名 Second Annual Conference of the India Public Policy Network (IPPN) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Makoto Yano
2 . 発表標題 High quality markets - a prerequisite for an innovative society
3 . 学会等名 ERIA, IDE-JETRO, Kyoto University, Waseda University Joint International Economic Symposium - Innovation, Strategy, and Survivability for East Asian Firms in the Globalized World (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名 Makoto Yano
2. 発表標題 From General Equilibrium Theory To Market Quality Economics
3. 学会等名 Conference on Institutions, Markets, and Market Quality (IEFS Japan Annual Meeting 2017) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 矢野誠
2. 発表標題 パネルディスカッション・パネリスト「エビデンスベース社会の確立」
3. 学会等名 京都大学経済研究所シンポジウムシリーズ : 豊かさを育むエビデンスベース社会の実現に向けて 第4回 「エビデンスベース社会の確立: 文理融合と科学技術コミュニケーションの実現に向けて」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 矢野誠
2. 発表標題 社会科学をなぜ学ぶか
3. 学会等名 中部大学創発学院 第2回 学術レクチャー
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 矢野誠
2. 発表標題 文理融合を育む人材育成 - 作り手と使い手をつなぐ -
3. 学会等名 京都大学経済研究所シンポジウムシリーズ : 豊かさを育むエビデンスベース社会の実現に向けて 第5回 「文理融合の発想を育む人材育成~作り手と使い手をつなぐ~」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 矢野誠
2. 発表標題 米国の税制改革をめぐる動き
3. 学会等名 RIETI特別セミナー
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 矢野誠
2. 発表標題 ソーシャル・キャピタルと所得との関係性の実証分析
3. 学会等名 京都大学経済研究所共同利用・共同研究拠点：CAPS事業，エビデンスベース社会構築事業「ソーシャル・キャピタルと地域社会との関わり」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 矢野誠
2. 発表標題 市場の質の法と経済学
3. 学会等名 高崎経済大学経済学会第3回学術講演会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 矢野誠
2. 発表標題 明るい未来の構築に向けて－経済学者からのメッセージ
3. 学会等名 京都大学経済研究所シンポジウムシリーズ : 豊かさを育むエビデンスベース社会の実現に向けて 第7回「明るい社会の未来像」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐藤正弘、仲山紘史
2. 発表標題 消費のソーシャル・ネットワークにおけるグリーン・コンシューマー
3. 学会等名 環境経済・政策学会2017年大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Rui Ota
2. 発表標題 An impact of China's new food safety law on its capital market: An event study analysis
3. 学会等名 International Academic Consortium for Sustainable Cities 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Rui Ota
2. 発表標題 Endogenous Price Leadership and Setup Cost Reduction
3. 学会等名 Conference on Institutions, Markets, and Market Quality (IEFS Japan Annual Meeting 2017) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yarime, Masaru
2. 発表標題 Digitalization of Innovation and Its Implications for the Sustainable Development Goals (SDGs)
3. 学会等名 18th Global Development Conference on Science, Technology and Innovation for Development, Global Development Network (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yarime, Masaru
2. 発表標題 Opportunities and Challenges in Open Data for Establishing Sustainable Smart Cities: Implications for the Digital Belt and Road
3. 学会等名 The 2nd Conference of Digital Belt and Road (DBAR 2017), Chinese University of Hong Kong (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Jiao, Na, Steve Evans, and Masaru Yarime
2. 発表標題 Maximising the Value of Second-Life Batteries for a Smarter Demand-Side Management in Hong Kong: Cloud Energy Storage System Based on Big Data
3. 学会等名 First Runner-up Prize, International Competition on Second Life for Retired Batteries from Electric Vehicles (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yarime, Masaru
2. 発表標題 Policy Studies on Open Data for Disaster Risk Reduction: Opportunities and Challenges in Emerging Innovations
3. 学会等名 Task Group Meeting 2017 on Linked Open Data for Global Disaster Risk Research (LODGD) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 矢野誠
2. 発表標題 市場の質の法と経済学
3. 学会等名 RIETI BBLセミナー (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 矢野誠
2. 発表標題 問題提起「市場の質とイノベーション政策」
3. 学会等名 京都大学経済研究所シンポジウムシリーズ : 豊かさを育むエビデンスベース社会の実現に向けて第1回「科学技術とイノベーション政策」
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 矢野誠
2. 発表標題 パネルディスカッション「豊かさを育むイノベーション政策」
3. 学会等名 京都大学経済研究所シンポジウムシリーズ : 豊かさを育むエビデンスベース社会の実現に向けて第1回「科学技術とイノベーション政策」
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 矢野誠
2. 発表標題 "Brexit from the Viewpoint of a Japanese Economist"
3. 学会等名 RIETI-CEPRワークショップ(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 矢野誠
2. 発表標題 問題提起「市場の質とイノベーション政策」
3. 学会等名 京都大学経済研究所シンポジウムシリーズ : 豊かさを育むエビデンスベース社会の実現に向けて第2回「文理融合とエビデンスベース・ポリシーの推進」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 矢野誠
2. 発表標題 パネルディスカッション「イノベーションにおける文理融合」
3. 学会等名 京都大学経済研究所シンポジウムシリーズ : 豊かさを育むエビデンスベース社会の実現に向けて第2回「文理融合とエビデンスベース・ポリシーの推進」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 太田 隼
2. 発表標題 An import surge as a trigger for protectionism: A consumer 's perspective (coauthored with Makoto Yano and Fumio Dei)
3. 学会等名 日本経済学会2016年春季大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 太田 隼
2. 発表標題 An import surge as a trigger for protectionism: A consumer 's perspective (coauthored with Makoto Yano and Fumio Dei)
3. 学会等名 2016 Asia Meeting of the Econometric Society (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Masaru Yarime
2. 発表標題 Encouraging Innovation on Smart Cities: An Analysis of Innovation Systems in Japan and the United States
3. 学会等名 Accelerating Low-Carbon Innovation Through Policy, American Association for the Advancement of Science (AAAS) 2017 Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Masaru Yarime
2. 発表標題 Stimulating Innovation for Sustainability under the Belt and Road Initiative: The Role of Japan in International Cooperation and Collaboration
3. 学会等名 Academia International Conference on Economic and Financial Cooperation: Hong Kong and the World under the Belt and Road Initiative (2016年12月15-16日) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Masaru Yarime
2. 発表標題 Stimulating Innovation for Smart Cities: Japan's Experience and Challenges for Urban Sustainability
3. 学会等名 The 2016 International Conference on Urban Infrastructure and Management (2016年11月17-18日) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Masaru Yarime
2. 発表標題 Stimulating Sustainable Innovation: A Case Study of Smart Cities
3. 学会等名 The 5th Asian Conference on Innovative Energy and Environmental Chemical Engineering (ASCON-IEEChE) (2016年11月13-16日) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Masaru Yarime
2. 発表標題 Providing Incentives to Data Sharing and Integration for Disaster Risk Reduction: Implications for Institutional Design and Public Policy
3. 学会等名 Session on Disasters and Disasters Risk Data, SciDataCon 2016 (2016年9月11-13日) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Roy Nyberg, Masaru Yarime
2. 発表標題 Assembling a Field into Place: Smart Cities in Japan
3. 学会等名 The 76th Annual Meeting of the Academy of Management (AOM) (2016年8月5-9日) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Masaru Yarime
2. 発表標題 Examining Innovation Systems of Smart Cities: Towards an International Comparative Analysis
3. 学会等名 The 16th International Joseph A. Schumpeter Society Conference (2016年7月6-8日) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Roy Nyberg, Masaru Yarime
2. 発表標題 Smart City Development in Japan: Digital Transformation or More of the Same?
3. 学会等名 The 32nd European Group for Organizational Studies (EGOS) Colloquium: Organizing in the Shadow of Power (2016年7月7-9日) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Masaru Yarime
2. 発表標題 Innovation Systems of Smart Cities: A Comparative Analysis of Japan and the United States
3. 学会等名 R&D Management Conference 2016 - From Science to Society: Innovation and Value Creation (2016年7月3-6日) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Nobuyuki Sakai, Masaru Yarime
2. 発表標題 The Development and Implementation of Smart Cities as a Policy Innovation: A Comparative Analysis of Public-Private Partnerships in Asia
3. 学会等名 HKU-USC-IPPA Conference on Public Policy: Coping with Policy Complexity in the Globalized World (2016年6月10-11日) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Masaru Yarime
2. 発表標題 Modeling Innovation Systems to Address Grand/Societal Challenges: A Case of Smart Cities
3. 学会等名 Modeling Science, Technology and Innovation Conference (2016年5月17-18日) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Masahiro Sato, Hirofumi Nakayama, Makoto Yano
2. 発表標題 Virtual water trade and water scarcity
3. 学会等名 日本経済学会2016年度春季大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 亀田泰佑, 佐藤正弘, 杉原茂, Colin Hotttman
2. 発表標題 Contribution of Quality and Product Variety to Retail Growth in Japan
3. 学会等名 日本経済学会2016年度春季大会
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計2件

1. 著者名 Makoto Yano, Chris Dai, Kenichi Masuda and Yoshio Kishimoto	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 154
3. 書名 Blockchain and Crypto Currency: Building A High-Quality Marketplace for Crypt Data	

1. 著者名 Makoto Yano, Fumihiko Matsuda, Anavaj Sakuntabhai and Shigeru Hirota	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 384
3. 書名 Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak: Public Health and Public Policy	

〔産業財産権〕

〔その他〕

「エビデンスベース・ポリシーに向けた高解像消費データ分析」プロジェクト http://intergreen.jp/consumption
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分担 者	佐藤 正弘 (Sato Masahiro) (60622214)	東北大学・国際文化研究科・准教授 (11301)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	関根 仁博 (Sekine Yoshihiro) (10811888)	京都大学・経済研究所・特定准教授 (14301)	
研究分担者	鎗目 雅 (Yarime Masaru) (30343106)	東京大学・大学院公共政策学連携研究部・教育部・客員准教授 (12601)	
研究分担者	太田 隼 (Ota Rui) (00338229)	横浜国立大学・国際商学部・准教授 (22701)	
研究分担者	本領 崇一 (Honryo Takakazu) (40835667)	同志社大学・経済学部・准教授 (34310)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計7件

国際研究集会 第1回御所北経済セミナー	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 第2回御所北経済セミナー	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 Market Quality Workshop (Hikmet Gunay, Associate Professor Department of Economics, University of Manitoba)	開催年 2016年～2016年
国際研究集会 Market Quality Workshop (Jean-Pierre Drugeon, Associate Member Paris Jourdan Sciences Economiques)	開催年 2016年～2016年
国際研究集会 Market Quality Workshop (Takakazu Honryo, Assistant professor Department of Economics, University of Mannheim, Chengsi Wang, postdoctoral researcher Department of Economics, University of Mannheim)	開催年 2017年～2017年
国際研究集会 Market Quality Workshop (Krishnendu Ghosh Dastidar, Professor, School of Social Sciences, Jawaharlal Nehru University)	開催年 2017年～2017年
国際研究集会 Market Quality Workshop (Jose A. Scheinkman, Charles and Lynn Zhang Professor of Economics, Columbia University, Jane Waldfogel, Professor of Social Work & Public Affairs, Columbia University)	開催年 2017年～2017年

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
インド	Jawaharlal Nehru University			
フランス	CY Paris Cergy University			
ドイツ	University of Mannheim			
イギリス	University of Oxford			